

金融庁 平成 30 年度行政事業レビューに関する外部有識者会合 議事概要

1. 開催日時：平成 30 年 6 月 11 日（月）14 時 00 分～15 時 00 分

2. 開催場所：中央合同庁舎第 7 号館西館 9 階 共用 3 会議室

3. 外部有識者（敬称略）：

吉野 直行 慶應義塾大学名誉教授

4. 主な審議内容

事務局より、平成 30 年度の外部有識者点検対象事業である、

事業 4「家計の安定的な資産形成推進のための制度周知・広報及び税制の調査・検証」

事業 14「国際金融センターとしての地位確立」

について説明を行った後、質疑・応答を踏まえ、外部有識者から以下のとおり所見が述べられた。

（事業 4「家計の安定的な資産形成推進のための制度周知・広報及び税制の調査・検証」）

- NISA 等により、日本の資産の有効活用・収益率の向上を推進することは重要。資産運用にプラスとなるよう、税制等も活用し、預貯金からほかの資産の取得へ誘導していただきたい。
- 退職した世代の方々にどのように資産運用してもらえば良いかを検討し、手法（例えば、リバースモーゲージ）の選択肢について周知していただきたい。

（事業 14「国際金融センターとしての地位確立」）

- 市場の活性化には、国内の成長企業を育てること、国内に蓄えた預貯金を上手に運用すること、国内の運用業者の資産運用能力が世界で高く評価されるよう、資産運用業の高度化を進めることが重要。
- 将来的には、日本の資産運用業者の長期的な運用パフォーマンスの他国比較なども施策の評価指標として検討していただきたい。

以上